

計画期間

2050年さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間(2023~2032年)

我が国国土が直面するリスクと構造的な変化

- 地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり
- コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化
- 激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

〈ポイント〉

- ※直面する様々なリスクに関する危機感や社会経済の構造的な変化から見える新たな可能性について整理
- ※人口減少の加速化など、国土の刷新が求められる時代の転換点にあるとの認識を強調

目指す国土の姿

- デジタルとリアルとの融合による活力ある国土づくり
- 巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する安全・安心な国土づくり
- 世界に誇る多彩な自然と文化を育む魅力あふれる国土づくり

〈ポイント〉

- ※次世代に向けた希望の持てる計画の理念、ビジョンの提示(多様性、豊かさの捉え方等)
- ※分野横断的・統合的なビジョンの提示(デジタル、グリーン、暮らし方・働き方等)
- ※国土構造のあり方に関わる東京一極集中の是正やスーパー・メガリージョンの進化等についての位置づけを整理

国土の刷新に向けた重点テーマ(仮)

- デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成
(デジタルの徹底活用によるリアル空間の質的向上、重層的な官民パートナーシップ等)
- 持続可能な産業への構造転換
(成長産業の分散立地、コンビナート等の強化・再生、地域産業の稼ぐ力の向上等)
- グリーン国土の創造
(地域の脱炭素化、自然資本の保全・拡大、持続可能な活用、グリーンインフラ等)
- 人口減少下の国土利用・管理
(地域管理構想等の国土の最適利用・管理、国土利用・管理DX等)

〈ポイント〉

- ※実効性ある計画とするための推進方策・体制の具体化
- ※横断的なテーマの位置づけを整理(地域人材のあり方、人々の活動を支える国土基盤のあり方等)